



なでしこ



病院基本方針

1. 地域とともにある病院と施設であり続けます
2. 治療から社会復帰まで、患者さんのニーズに合った医療と介護の支援を提供します。
3. 断らない、頼れる病院を目指します。
4. 生活困窮者支援を推進します。
5. 働き甲斐のある、誇れる病院を目指します。
6. 健全経営で安定的に事業継続する事で社会貢献を致します。

患者さんの権利宣言

私達は、当院の医療において、患者さんが真に人として尊重され、よりよい人間関係の深まりと共に安心して治療を行われていくようにするために、患者さんの権利に関する宣言をかかげます。

- 1.個人の尊厳を守る権利
- 2.十分な説明と情報を受ける権利
- 3.平等で最善の医療を受ける権利
- 4.プライバシーが保護される権利

職員心得

- ・医療従事者として自覚を持ち研鑽を積み、相互連携・融和をはかる
- ・済生会で働くことに誇りを持ち、社会人の範となるべく努力する。

日向病院の理念

- 患者さんのために
- 良質な医療を
- 的確・迅速に
- 真心を込めて提供する

新任の先生をご紹介します



麻酔科 医師

そ え じ ま よ し ゆ き
副 島 由 行

ごあいさつ

2025年4月1日より勤務させて頂くことになりました副島由行です。
山口大学を昭和59年(1984年)に卒業し、山口大学麻酔蘇生学教室に入局し
同年山口大学外科系麻酔学講座の大学院に入局し、意識障害の病態について研究し、
敗血症性脳症の脳代謝で学位をとりました。

その後山口県立中央病院・山口労災病院で研鑽を積み、1988年より15年間山口大学総合治療センターで3次救急患者(多発外傷患者・ショック・心肺停止患者など)や院内最重症患者(人工呼吸管理の必要な重症呼吸不全患者・人工腎補助の必要な急性腎不全患者・人工肝補助の必要な劇症肝炎・ECMOなど機械的補助の必要な重症心不全)や侵襲の大きい手術を受けた術後患者(心臓術後・大血管術後・食道術後・肝胆膵術後)を麻酔科だけでなく外科系や内科系で集中治療に興味をもたれていた先生をスタッフにお迎えしいろいろ協力しながら治療を進めてまいりました。その時の経験が今の私の礎となっております。

その後1年間 山口宇部医療センターで主に肺癌手術の麻酔に従事し2004年よりJA小郡第一総合病院の麻酔科で整形外科・外科・泌尿器科・眼科の麻酔に従事しました。

2025年までに2万4000例の麻酔を各科医師・看護師・臨床工学技士・薬剤師・放射線技師の多大なる協力を頂くことで安全に円滑に行うことができました。

そのほか病院の業務改善のためにシステム開発も積極的に行いました。

今回 妻の出身が宮崎のこともあり、同級の松本美志也麻酔科教授退官を機にこちらの病院にお世話になることになりました。

今後は日向病院では麻酔業務・訪問診療業務を中心に救急患者・予約外患者の受入れにも取り組んで地域の皆様に気軽に利用して頂く日向病院を目指して、スタッフの皆さんとともに頑張りたいと思います。

小児科 医師

わたなべ ひろむ

渡邊 啓夢

ごあいさつ



2025年4月より小児科で勤務させていただくことになりました、渡邊啓夢と申します。

初期研修修了後に宮崎大学小児科に入局し、これまで大学病院をはじめ、県立宮崎病院や県立日南病院などで勤務してまいりました。

済生会日向病院にも、2022年8月から10か月間勤務しており、今回が二度目の赴任となります。

現在小児科は一人体制となっており、入院や時間外対応を中止しているほか、外来でも患者の皆さまをお待たせすることがあり、ご不便をおかけしております。6月からは従来の二人体制に戻る予定で、それに伴い入院・時間外対応も再開し、外来もよりスムーズに対応できる見込みです。

この数年で新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せていますが、RSウイルスやヒトメタニューモウイルスなどは例年通り定期的な流行を繰り返しており、最近では学童期の小児において百日咳の報告も増えてきています。今後も、近隣の開業医の先生方や大学病院、県立病院と連携しながら、県北地域の小児医療に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



眼科 医師

わた

和田

えりか

英里香

ごあいさつ

令和7年4月より眼科常勤として赴任して参りました和田英里香と申します。

当院はもともと週に3回の診療でしたが、2年前に高橋みどり先生が赴任されてから常勤となり、高橋先生と交代する形での勤務となります。

私は宮崎市出身で、初期研修の2年間は関東で過ごしましたが、その後宮崎大学医学部附属病院眼科に入局後、大学病院と宮崎中央眼科病院で勤務を行いました。

当科の大まかなスケジュールとしては、毎週月曜日に大学病院からの医師派遣があり午前中の外来診療に加え、午後に白内障手術・緑内障手術を行っています。火曜日・金曜日の午後には蛍光眼底造影検査を施行しており、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性の患者様を近隣の先生方からも多くご紹介いただいております。水曜日・木曜日は通常の外来日です。

今回転居しましたので門川町・日向市についてより理解を深め、近隣の開業医の先生方と協力し、県北の眼科医療に貢献できるよう努めて参ります。

新規採用職員オリエンテーション

4月1日、令和7年度新規採用職員オリエンテーションが開催されました。医師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、看護師、事務職員など、多職種の新入職員が一堂に集まり、病院の一員としての自覚を新たにしました。オリエンテーションでは、『済生会の組織人として』をテーマに、病院の理念や組織の役割、そして求められる心構えについての講義が行われました。新入職員は、病院の使命を理解し、患者さんに対する責任感を深めるとともに、地域医療の大切さを再認識しました。研修を通じて得た知識と仲間との絆を胸に、それぞれが自分の役割をしっかりと果たしていく決意を固めました。これからも、地域の皆さまに信頼される医療を提供し続けるために日々努力してまいります。



辞令交付式

新年度にあたり辞令交付式を実施しました。新入職員は緊張した面持ちで辞令を受け取り、新たな一歩を踏み出しました。今後の成長と活躍が期待されます。

院内ローテーション研修

新入職員が院内の各部署をローテーション研修し、業務内容や役割への理解を深めました。多職種との関わりを通じて、今後の連携やチーム医療に生かしていきます。



リハビリ通信



回復期病棟 リハビリ レクリエーション

桜が満開を迎えた頃、回復期病棟の皆さんと春のお花見を楽しみました。満開の桜の下で体操を行い、その後伝言ゲームで盛り上がり、笑顔が広がるひとときとなりました。春の陽気に包まれ、心身ともにリフレッシュできました。

院内新人研修：看護部

看護部の新入職員を対象に、基礎技術の習得を目的とした研修を実施しました。血管確保、輸液・シリンジポンプの操作、経管栄養チューブの挿入など、実習モデルを使用した実践的な内容で構成され、参加者は真剣な表情で一つひとつの手技に取り組んでいました。実際の現場を意識しながら、自らの手で技術を確かめ、確かな力を身につけていきます。医療現場を支える一員としての成長を、今後も丁寧に支えてまいります。

夜間災害対策訓練



病院食のご紹介

春の味覚をふんだんに盛り込んだ「お花見弁当」をご提供。繊細な盛り付けと上品な味わいで、入院中のひとときにささやかな季節の彩りを添えました。



私たちと一緒に働きませんか？

詳しくは
ホームページへ



募集

医師/薬剤師/臨床検査技師/理学療法士/作業療法士/看護師/准看護師/看護補助者

Anniversary

5月15日
済生会日向病院
開院記念日

5月30日
済生会創立記念日



昭和35年当時（開院は昭和33年5月15日）

3月28日、夜間に災害が発生した場合を想定し、災害対策訓練を実施しました。

災害時に必要な照明機材の設置や操作手順を確認したほか、地域住民の避難を想定して屋上への避難誘導訓練も行いました。限られた明かりの中で安全に誘導する方法を検証し、災害時の対応力を高めるために、実際の現場を想定したシミュレーションを行いました。寒さの残る季節にもかかわらず、職員一同が協力し、真剣に取り組む姿が印象的でした。訓練を通じて、災害時の冷静な対応方法や地域住民との連携強化を再確認し、万全の備えを整えました。今後もこのような訓練を積み重ね、地域の皆さまの安全を守るために、防災体制の強化に努めてまいります。